

# Håfa Adai

グアム日本人学校（全日制）学校だより

平成28（2016）年8月31日

校長 福澤 諭



## 体験から学ぶこと

始業式に各学年の代表の子ども達が、2学期の目当て等を発表しました。「2学期の目標は3つあります・・・」と、とてもわかりやすく、堂々とした態度で発表してくれました。

その中で、貴重な体験をしたことを通して学んだことやこれからは生かしたいこと等を発表してくれた、中学部1年生の鈴木賢太郎さんの発表文を紹介します。

### 始業式でのあいさつ

中学部1年 鈴木 賢太郎

僕は、6月から7月の1ヶ月間日本の学校に体験入学しました。体験するのはこれで7回目なので、友達と会えるのが楽しみでした。学校で会ったら、みんなは元気でした。

部活では、卓球部に入りました。僕の中学校の卓球部は全国大会をめざすチームだったので、練習は大変でした。最初は体育館の半分を16周ダッシュで走ります。声を出さなかったりしたら、16週の倍の32周走ります。ほかにも、準備体操や卓球台の準備などたくさんあります。家に帰ったときは、つかれすぎてごはんをあまり食べないですぐねました。毎日、学校が終わったらそれをくりかえしやってきました。

今回、部活をやって学んだ事がありました。

1つ目は、中学2・3年生に敬語を使う事。

2つ目は、先生が来る前に卓球部全員が分担して準備をする事。

最後は、先生にあいさつはもちろんだけど、体育館に「ありがとうございました。」と、礼をしてから家に帰る事を学びました。

「体育館は人間ではないけれど、『感謝』する気持ちで礼をするんだ。」と、教えてもらいました。

これからも、物を大事にして、感謝する気持ちを持って過ごして行きたいです。

賢太郎さんは毎年日本の学校で体験入学をしてきました。今年大きく違ったのは、中学校で部活動を体験した事です。全国大会を目指す運動部の厳しさ、先輩後輩の縦の関係、礼儀作法、感謝の気持ち等、たくさんの事を学んだ体験を発表してくれました。

実際に自分が体験しないと分からないことがたくさんあります。2学期は、日々の授業はもちろんのこと、水泳学習・宿泊学習・修学旅行・秋祭り・スクールパフォーマンス等々、成長できる場面がたくさんあります。毎日学校に通い、たくさんの体験が出来ることに感謝し、自分に合った目標をもって取り組んで行きましょう。

※ 現地採用英語講師のルーウィン先生(Mrs. Lwin Gugin)の後任にエル先生(愛称)(Mrs. Eloise G. Camacho)が着任しました。小学部3年生・6年生・中学部1年生を担当します。よろしくお願いいたします。